

平成22年中の交通事故概況

府内の年間交通事故死者数は96人

京都府警察本部交通部交通企画課

はじめに

交通事故統計は全国斉一の基準により、昭和21年から実施され、交通事故防止対策を推進する上の基礎資料として活用されています。

この度、平成22年中の交通事故の状況をとりまとめましたので、その概要をお知らせします。

1 京都府内の交通事故発生状況

平成22年中の京都府内における交通事故の発生状況は、

- ・発生件数……………14,775件
- ・死者数…………… 96人
- ・負傷者数……………17,813人

であり、死者数は交通事故統計の実施された昭和21年以降で最も少なかった平成19年の91人に次いで過去2番目に少ない人数となりました。また、発生件数及び負傷者数も6年連続して減少し、昭和41年以降で最少の人数となりました。

しかしながら、今なお、交通事故で1年間に96人が亡くなれば、重傷者(1箇月(30日)以上の治療を要する人)の数が1,357人に上るなど交通事故情勢は厳しいものがあります。

2 交通事故発生の年次別推移

京都府内の交通事故による年間の死者数は過去の昭和47年、48年(360人)に比べ、平成22年(96人)は約4分の1にまで減少しました。

発生件数は昭和48年の18,812件に対し、平成22年は14,775件であり、21.5%の減少です。

一方、自動車保有台数は、死者数の最も多かった昭和48年の約55万台から平成22年の約134万台へ2.4倍に増加しています。免許保有者数についても同様の年次比較で2.3倍に増加しています。

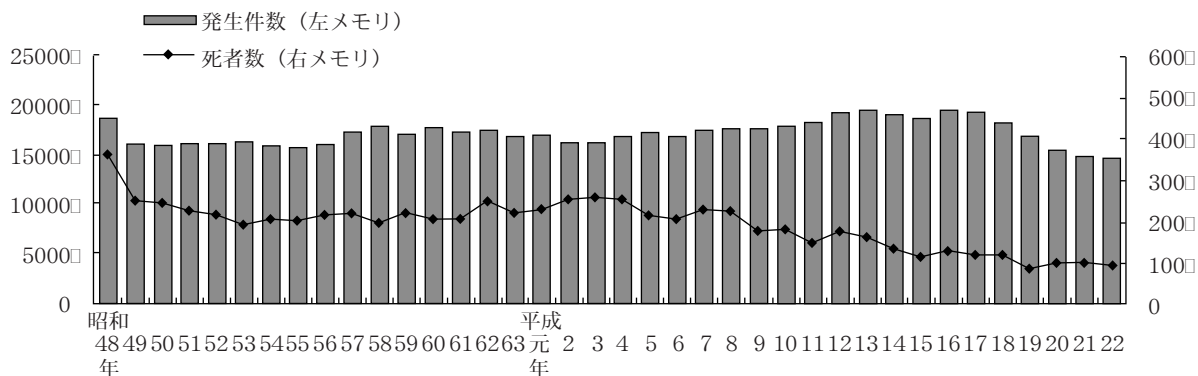
こうした推移の下で、自動車千台当たりの交通事故発生件数は、昭和48年の34.4件から平成22年の11.1件まで減少しています。

(昭和48年と平成22年との比較)

区 分	発生件数	死者数	負傷者数
昭和48年	18,812件	360人	25,542人
平成22年	14,775件	96人	17,813人
増減対比	△4,037件	△264人	△7,729人
増減率	△21.5%	△73.3%	△30.3%

発生件数、死者数が減少した背景を見ると、交通指導取締り、交通安全教育等の施策をはじめ、信号機等の交通安全施設の整備、道路の改良、エアバッグ装備車やABS装置車等の普及、緊急医療体制の整備等の諸施策によるものと考えられます。

交通事故発生件数、死者数の推移 (件、人)



3 交通事故発生の地域別状況

平成22年中の京都府内における交通事故14,775件中、9,342件（63.2%）が京都市内で発生しています。

路線別の交通事故発生件数は、国道1号が最も多く837件、次いで国道9号708件、国道24号604件となっています。

（地域別交通事故発生件数）

地域	発生件数	割合
京都市域	9,342件	63.2%
山城地域	3,572件	24.2%
南丹地域	682件	4.6%
中丹地域	787件	5.3%
丹後地域	392件	2.7%
総 数	14,775件	100.0%

（地域区分）

- ・山城地域：宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、乙訓郡、久世郡、綴喜郡、相楽郡
- ・南丹地域：亀岡市、南丹市、船井郡
- ・中丹地域：福知山市、舞鶴市、綾部市
- ・丹後地域：宮津市、京丹後市、与謝郡

区 分	発生件数	死者数	負傷者数
国道1号	837件	4人	1,104人
国道9号	708件	9人	884人
国道24号	604件	5人	746人
国道171号	291件	3人	353人

4 交通事故の種類、違反内容

交通事故は「人対車両」、「車両相互」、「車両単独」及び「列車」の4つに分類されますが、平成22年中の発生状況は、次表のとおりです。

（交通事故類型別状況）

区 分	発生件数	死者数	負傷者数
人対車両	1,473件	30人	1,490人
車両相互	12,837件	42人	15,789人
車両単独	464件	24人	533人
列 車	1件	0人	1人
総 数	14,775件	96人	17,813人

どのような状況での交通事故が多いかを見ると、人対車両では「道路横断中」の事故が最も多く、805件発生し、死者数23人、負傷者数810人となっています。

車両相互事故では、出会い頭の事故が4,114件で最も多く、死者数13人、負傷者数4,755人、次

いで追突事故が3,641件で死者数7人、負傷者数5,225人となっています。

（事故類型別状況）

区 分	件数	死者数	負傷者数
人対車両小計	1,473件	30人	1,490人
横断歩道横断中	357件	8人	363人
その他横断中	448件	15人	447人
人対車両その他	668件	7人	680人
車両相互小計	12,837件	42人	15,789人
正面衝突	290件	10人	404人
追突	3,641件	7人	5,225人
出会い頭	4,114件	13人	4,755人
右折時	1,589件	5人	1,833人
左折時	1,162件	0人	1,205人
車両相互その他	2,041件	7人	2,367人
車両単独小計	464件	24人	533人
工作物（電柱等）	177件	14人	228人
単独事故その他	287件	10人	305人
列車	1件	0人	1人
総数	14,775件	96人	17,813人

■事故当事者の違反内容

平成22年中の府内の交通事故14,775件の原因について、第1当事者の法令違反から見ると、主なものは次表のとおりです。

（第1当事者の主な法令違反）

安全不確認(前方・左右)	5,249件
安全不確認(後方)	1,711件
前方不注意(脇見等外在的)	1,963件
前方不注意(考え事等内在的)	578件
動静不注視	1,601件
ハンドル・ブレーキ操作不適	949件
交差点安全進行義務違反	454件
指定場所一時不停止等	262件
信号無視	270件
横断歩行者妨害等	196件
横断自転車妨害等	231件

5 交通事故の主な特徴

平成22年中の京都府内の交通事故の特徴を次の分類から見ていきます。

- ・高齢者の事故
- ・子どもの事故
- ・自転車の事故
- ・歩行者の事故
- ・飲酒運転の事故

■高齢者(65歳以上)の事故

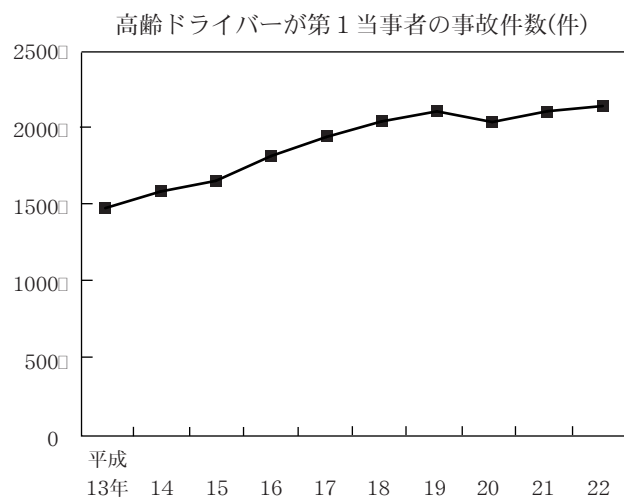
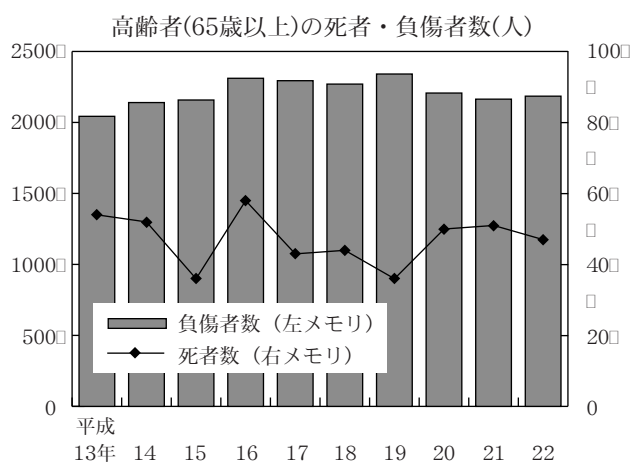
平成22年中の京都府内の高齢者（65歳以上）の交通事故死者数は47人で、交通事故死者総数96人の49.0%を占めています。高齢者の事故時の状態は次のとおりです。

- ・歩行中…23人(道路外の人1人を含む。)
- ・自動車乗車中…14人
- ・自動二輪車・原付車乗車中…4人
- ・自転車乗用中…6人

高齢者の死亡事故発生時の通行目的は、友人等訪問と買い物がそれぞれ9人で最も多く、次いで、散歩が6人となっています。

府内の人口に占める高齢者の割合は約23%ですが、交通事故による高齢者死者数の死者総数に対する割合は、平成13年以降の10年間では約30%～50%を占める状況で推移しています。

一方、高齢ドライバーが第1当事者となった事故は平成22年中に2,144件発生し、平成13年の1,474件の約1.5倍に増加しています。

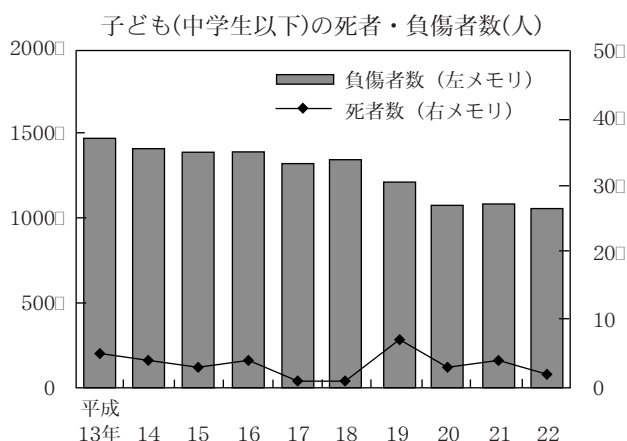


■子どもの事故

平成22年中の京都府内における子ども（中学生以下）の交通事故死者数は2人、負傷者数は1,056人です。

子どもの交通事故死傷者数1,058人について、事故発生時の状態を見ると、自動車同乗中の事故が最も多く419人、次いで自転車乗用中・同乗中395人、歩行中234人となっています。

平成13年以降の10年間について見ると、交通事故による子供の死傷者数は1,000～1,400人台で推移しています。



■自転車の事故

自転車が車や人と衝突した自転車が関係する交通事故は平成22年中に3,172件発生しています。自転車乗用中の死者数14人、負傷者数3,121人という状況です。主な特徴は、

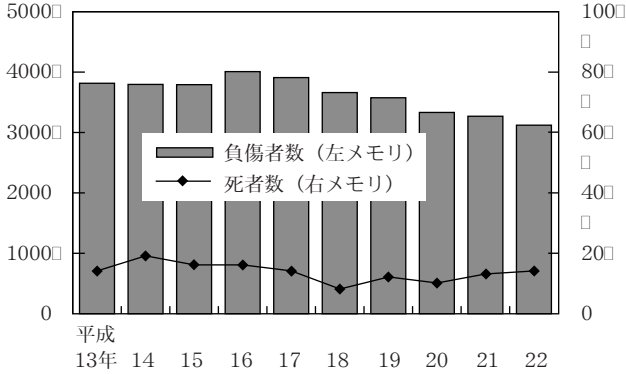
- ・出会い頭の事故が55.9%
- ・事故の相手方は自動車が81.0%
- ・多発時間帯は8～10時、16～18時

等となっています。

なお、平成22年中の自転車乗用中の負傷者のうち治療1箇月以上の重傷者数は271人です。

死亡事故について見ると、死者14人中の9人が自動車が主原因となった事故で死亡しています。また、自転車と歩行者との衝突事故は56件発生しています。

自転車乗用中の死者・負傷者数(人)



なお、京都府内の自転車乗用中の負傷者数は交通事故による負傷者総数の17.5%、死者数の同様比較では14.6%を占めています。全国の自転車乗用中の負傷者の同様の割合は16.8%、死者数は13.5%です。

■歩行者の事故

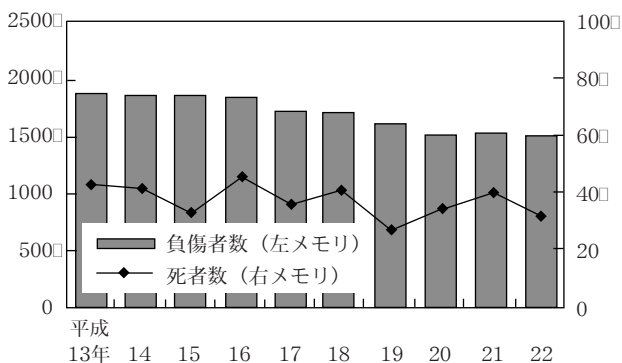
平成22年中の歩行者事故は1,473件発生し、死者数32人(他に道路外の人1人)、負傷者数1,513人(他に道路外の人等23人)となっています。

年間の死者数96人のうち歩行中の死者が33.3%を占めており、その主な特徴は、

- ・高齢者が22人 (68.8%。他に道路外の人1人が高齢者)
- ・横断中が23人 (71.9%)
- ・自動車が主原因の事故による死者は26人(81.3%)

等が挙げられます。

歩行者の死者・負傷者数(人)



歩行者事故1,473件の相手車両は自動車1,185件(80.4%)、二輪車186件(12.6%)等ですが、車両の主な違反(第1当事者)は次のとおりです。

- ・安全不確認 716件
- ・動静不注視 154件
- ・前方不注意 165件

・横断歩行者妨害 196件

一方、歩行者の法令違反を見ると、1,473件中、500件(33.9%)に違反がありました(第2当事者を含む)。違反内容は、飛び出し、横断歩道外横断、横断禁止場所の横断、車両の直前・直後の横断、信号無視等となっています。

■飲酒運転の事故

平成22年中に原付自転車以上の車両を飲酒運転していたことによる事故は60件発生し、死者数9人、負傷者数89人となっています。

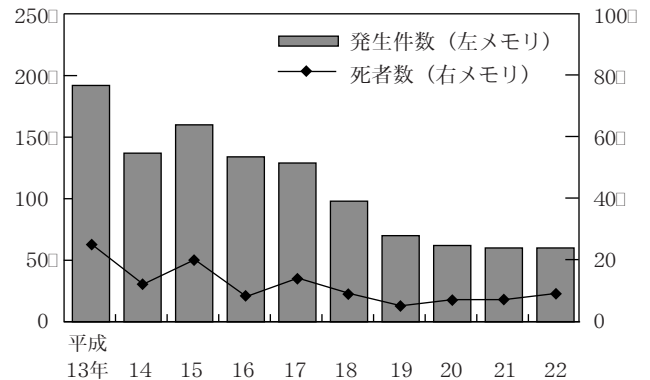
飲酒事故60件の事故類型では追突が最も多く、21件、次いで工作物への衝突が7件となっています。

平成12年(233件発生、25人死亡)をピークに21年まで、飲酒運転の事故は減少傾向で推移していましたが、平成22年の飲酒運転事故件数は前年と同数で、死者数は前年対比で2人増加しました。

道路交通法の改正(平成14年、19年、21年)による飲酒運転の罰則強化や、飲酒運転根絶の社会的機運の高まりにも関わらず、飲酒運転による死亡事故が跡を絶ちません。

(注) 飲酒運転の件数、人員は、酒酔い運転及び政令数値以上の酒気帯び運転の合計で示す。

飲酒事故の発生件数と死者数(件、人)



▼「第1当事者」とは、最初に交通事故に関与した車両等(列車を含む)の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故における過失が重い者をいい、過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいう。

▼「死亡」(「死者」とは、交通事故によって、24時間以内に亡くなった場合(人)をいう。

第1表 市区町村別交通事故発生状況□

(単位：件、人) □

区 分	発生件数	死亡事故		重傷事故		軽傷事故		
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	
総 数	14,775	95	96	1,298	1,357	13,382	16,456	
京都市域	北 区	583	1	1	55	55	527	591
	上京区	383	0	0	48	49	335	401
	左京区	732	7	7	62	64	663	775
	中京区	679	4	4	55	58	620	713
	東山区	391	0	0	38	40	353	414
	山科区	1,029	3	3	45	48	981	1,253
	下京区	693	4	4	55	56	634	751
	南 区	1,113	7	7	76	79	1,030	1,289
	右京区	1,025	4	4	93	95	928	1,095
	西京区	761	4	4	70	71	687	823
	伏見区	1,953	6	6	144	154	1,803	2,202
	京都市計	9,342	40	40	741	769	8,561	10,307
	山城地域	宇治市	1,033	5	5	106	110	922
城陽市		358	2	2	32	34	324	407
向日市		314	0	0	24	26	290	356
長岡京市		315	1	1	35	35	279	330
八幡市		370	0	0	36	37	334	410
京田辺市		305	2	2	21	21	282	337
木津川市		220	4	4	21	22	195	264
大山崎町		79	0	0	9	9	70	110
久御山町		363	2	2	35	37	326	437
井手町		33	0	0	5	5	28	37
宇治田原町		41	0	0	3	4	38	48
笠置町		9	0	0	2	2	7	15
和束町		11	1	1	3	3	7	9
精華町		114	0	0	6	6	108	137
南山城村		7	0	0	1	1	6	10
山城計		3,572	17	17	339	352	3,216	4,025
南丹地域		亀岡市	479	5	5	43	47	431
	南丹市	120	7	8	6	7	107	139
	京丹波町	83	1	1	8	8	74	116
	南丹計	682	13	14	57	62	612	779
中丹地域	福知山市	308	8	8	55	56	245	327
	舞鶴市	338	5	5	34	37	299	391
	綾部市	141	5	5	19	20	117	156
	中丹計	787	18	18	108	113	661	874
丹後地域	宮津市	81	1	1	10	11	70	103
	京丹後市	236	6	6	30	35	200	278
	与謝野町	72	0	0	13	15	59	87
	伊根町	3	0	0	0	0	3	3
	丹後計	392	7	7	53	61	332	471

第2表 年次別交通事故発生状況□

(単位：件、人) □

区分 年次	交通事故					自動車保有 台数	自動車 千台当 たりの 発生 件数	人 口	人口10万人当たり□	
	発生件数	うち死亡 事故件数	死者数	負傷者数	うち 重傷者数				死者数	負傷者数
昭和40年	12,977	289	304	15,714	…	191,074	67.9	2,102,808	14.5	747.3
41□	14,833	317	332	18,600	…	221,831	66.9	2,125,053	15.6	875.3
42	16,705	278	296	21,832	…	261,425	63.9	2,160,488	13.7	1,010.5
43	21,227	294	309	28,786	…	307,377	69.1	2,193,535	14.1	1,312.3
44	25,771	337	346	35,504	…	360,911	71.4	2,219,118	15.6	1,599.9
45	25,066	331	356	35,122	…	409,784	61.2	2,250,087	15.8	1,560.9
46	23,222	340	351	32,155	2,834	454,795	51.1	2,280,682	15.4	1,409.9
47	21,455	341	360	29,407	2,640	502,458	42.7	2,321,777	15.5	1,266.6
48	18,812	341	360	25,542	2,458	546,900	34.4	2,362,094	15.2	1,081.3
49	16,105	242	253	21,572	2,239	567,999	28.4	2,394,209	10.6	901.0
50	16,082	224	246	21,252	1,635	583,771	27.5	2,424,856	10.1	876.4
51	16,100	216	226	21,042	1,579	612,420	26.3	2,452,193	9.2	858.1
52	16,191	216	220	21,096	1,570	641,592	25.2	2,475,558	8.9	852.2
53	16,328	184	195	21,232	1,334	673,371	24.2	2,495,922	7.8	850.7
54	16,058	201	210	20,464	1,407	705,298	22.8	2,512,566	8.4	814.5
55	15,890	195	203	20,462	1,923	736,399	21.6	2,527,330	8.0	809.6
56	16,229	203	220	20,829	2,147	768,247	21.1	2,539,192	8.7	820.3
57	17,357	213	223	22,111	2,418	803,548	21.6	2,553,097	8.7	866.0
58	18,065	190	200	23,298	2,486	839,889	21.5	2,567,529	7.8	907.4
59	17,117	211	225	21,895	2,286	874,869	19.6	2,577,849	8.7	849.4
60	17,839	202	207	22,604	2,480	908,550	19.6	2,586,574	8.0	873.9
61	17,360	199	208	22,137	2,407	948,451	18.3	2,594,420	8.0	853.3
62	17,514	245	250	22,277	2,596	984,290	17.8	2,599,876	9.6	856.8
63	17,029	213	223	21,546	2,541	1,030,888	16.5	2,603,742	8.6	827.5
平成元年	17,100	222	231	22,276	2,661	1,083,997	15.8	2,605,810	8.9	854.9
2	16,473	248	259	21,032	2,826	1,127,021	14.6	2,602,460	10.0	808.2
3	16,320	250	260	21,297	2,741	1,158,023	14.1	2,606,196	10.0	817.2
4	16,955	242	259	21,471	2,994	1,175,768	14.4	2,612,619	9.9	821.8
5	17,315	206	216	22,016	3,021	1,199,095	14.4	2,614,955	8.3	841.9
6	17,080	200	210	21,597	2,815	1,226,232	13.9	2,619,007	8.0	824.6
7	17,515	216	231	21,961	2,816	1,258,193	13.9	2,629,592	8.8	835.1
8	17,860	215	227	22,273	2,724	1,289,403	13.9	2,633,334	8.6	845.8
9	17,748	175	181	21,927	2,657	1,315,122	13.5	2,636,750	6.9	831.6
10	17,957	177	185	22,021	2,571	1,324,790	13.6	2,641,787	7.0	833.6
11	18,447	149	153	22,787	2,417	1,334,441	13.8	2,643,580	5.8	862.0
12	19,360	174	181	23,971	2,518	1,344,972	14.4	2,644,391	6.8	906.5
13	19,523	159	164	24,311	2,634	1,350,132	14.5	2,646,143	6.2	918.7
14	19,174	130	136	23,570	2,566	1,352,434	14.2	2,646,555	5.1	890.6
15	18,884	118	119	23,129	2,385	1,349,689	14.0	2,647,889	4.5	873.5
16	19,590	129	130	24,162	2,485	1,359,708	14.4	2,648,245	4.9	912.4
17	19,460	117	120	23,747	2,412	1,379,483	14.1	2,647,660	4.5	896.9
18	18,346	118	121	22,374	2,382	1,384,894	13.2	2,644,075	4.6	846.2
19	17,094	90	91	20,655	2,161	1,360,903	12.6	2,638,510	3.4	782.8
20	15,517	99	102	18,565	2,039	1,351,648	11.5	2,635,134	3.9	704.5
21□	15,009	100	101	17,972	1,914	1,339,734	11.2	2,631,441	3.8	683.0
22	14,775	95	96	17,813	1,357	1,335,232	11.1	2,636,704	3.6	675.6

注1 自動車台数は軽二輪以上の二輪車を含む。各年12月末現在□

2 人口は各年10月1日現在の推計値、国勢調査年は国勢調査人口（平成22年は速報値）